

宮古島作戦関係年表 (自昭和十八年 至 二十一年二月)

昭和十八年	海軍飛行場設定工事始まる		
十九年二月二十二日	第三十二軍創設		
五月	西部軍司令官下村定中将初度巡視		
五月二十日	先島守備隊長に宮崎武之少将		
五月	陸軍中・西飛行場工事始まる		
六月二十九日	陸軍輸送船富山丸遭難		
六月三十日	第二十八師団、第三十二軍編入発令、宮古島配置決る		
七月六日	第二十八師団福地参謀長ら到着		
七月七・八日	大本営参謀長勇少将来島		
七月二十日	第二十八師団長榊淵中将到着		
七月二十五日	歩兵第三十連隊主力、軍艦で宮古島到着		
八月	非戦斗員の島外疎開始まる		
八月二十二日	独混第四十五旅団司令部、石垣島に移動		
九月四日	第三十二軍長参謀長一行、飛行場工事視察		
九月	信号弾、敵潜水艦の出没頻り		
九月中旬	独立混成第五十九、同六十旅団主力到着		
九月十七日	第三十二軍牛島軍司令官一行初度巡視		
十月五日	陸軍中・西飛行場完成		
十月十日	初空襲、輸送船広田丸沈没		
十月十三日	台湾沖航空戦		
十月十六日	侍従武官坪島文雄中将来島		
十二月	敵大型機の偵察、海上補給路妨害頻り		
十二月二十二・三日	第三十二軍長参謀長ら来島、宮古島防衛のための兵棋演習		
二十一年一月三日	新年初空襲		
一月九日	B 29偵察飛行に初見参		
一月十六日	榊淵中将、第三十四軍司令官へ栄転出発		
昭和二十年一月十六日	新集団長納見敏郎中将台湾より着任		
一月二十一・二日	艦載機延五十六機来襲、船舶陸上施設に損害		
二月一日	参謀長更迭、福地少将南支へ、後任一瀬大佐発令		
二月十五日	敵機動部隊接近、集団司令部野原越に移動		
三月一日	艦載機延六十機来襲、大建・豊坂丸撃沈され最終船となる。		
三月二十五日	米軍慶良間島上陸、連続空襲始まる		
三月三十日	大空襲、女学校・無線受信所・測候所などに被害		
四月一日	米軍沖繩上陸		
四月二十六日	米軍、宮古島攻略作戦中止		
五月四日	始めにして終りの艦砲射撃		
六月二日	乙戦備下令、敵空挺部隊降下の情報しきり		
六月	独立混成第五十九旅団主力、伊良部島から平良町へ移動		
六月二十三日	沖繩戦終る		
七月	空襲閑散、取り残された島の感。軍民あげて食糧自給体制強化		
八月十五日	終戦の詔勅		
八月二十三日	納見中将、沖繩へ向かい停戦協定調印		
九月七日	沖繩で降伏文書調印式		
九月二十六日	飛行場、測候所へ復員連絡所開設		
十月六日	武装解除完了		
十月二十日	復員第一号海防艦一九二号出港		
十一月二十五日	米船コーヘン出港、大量復員始まる		
十二月一日	納見中将、B級戦犯指定		
十二月十三日	納見中将自決		
十二月	米軍政施行		
二月	復員完了		